

32 神戸大学

Kobe University

FORTEK2014年度プロジェクト 総括

神戸大学学生フォーミュラチームFORTEK

Kobe University Formula Student Team FORTEK

<http://formula-kobe.com/>



Presentation プレゼンテーション

マシン名: **FORTEK2014**

今年度はマシンの開発コンセプトを“Fun to Ride”と定め、限界性能の向上と高い操作性の実現を両立させるため、2輪モデルを使用したパッケージングの検討やタイヤデータの活用、ハンドクラッチ&2ペダル方式の採用などの開発を行ってまいりました。またそれ以外にも、各部品の製作工程を見直すことで、例年問題であったウイング等の工数改善や工場の加工機をフル活用し製作時間の短縮といった走行性能に直接的に関わる部分以外にもさまざまな改善を図りました。

しかし、例年マシンの製作を行っている工場が建替のためにマシンの保管場所であった倉庫ともども取り壊され、製作(特に溶接作業)の目処が立たない状態となりました。そんな状況でも、FAの先生方や大学職員の皆様のご尽力により何とか製作を始めることができましたが、例年より製作開始が大幅に遅れた結果、シェイクダウンが昨年度比で2ヶ月遅れとなってしまいました。そのため例年よりテスト走行回数が減ってしまい、新人ドライバーに十分な練習時間を用意できなかったことが非常に悔やまれます。

Participation report 参戦レポート

今年度は例年よりも2回生の数が多かったため、静的種目に関して院生等の上回生がデザインを、2回生等の若いメンバーがコスト・プレゼンテーションをそれぞれメインでやるという形で行いました。その結果、デザインではチーム史上最高の6位という好成績、コストでは過去3年間でできなかったAccuracy(正確性)での得点獲得、プレゼンテーションについても十分な好成績を獲得することができ、それぞれの審査についての改善点や得点獲得のプロセス等を来年度の担当者がしっかり認識することができる良い結果となったと思います。

しかし、例年よりも動的審査の練習時間が短い状態で大会本番に臨んだため、特に新人ドライバーのみで挑んだアクセルレーション・スキッドパッドについてはほとんど得点を獲得することができないという結果となってしまいました。またオートクロスに関しても、ドライバーがマシンの特性や限界について完璧に把握できていない状態での走行となったため、本来の性能を発揮することができず他大学が昨年度よりタイムを上げる中、良いタイムを残すことができませんでした。その結果エンデュランスの出走がBグループとなり、大会4日目の大雨の中での走行のためAグループには大きくタイムで引き離されてしまう結果となりました。

以上のことから、今年度は得点獲得のプロセスを意識することの重要性和、マシン性能を引き出すための練習時間確保の重要性について、メンバー全員がしっかりと常に意識した上で活動を行うことでより良い開発が行えたと学ばず年であったと感じました。

今回の総合結果・部門賞

●総合 17位 ●日本自動車工業会会長賞

Profile チーム紹介・今までの活動

私達FORTEKは第2回大会より本大会に参戦しており、今年で創部11年目を迎えました。昨年度大会エンデュランスにて、オーバーヒートのため後1周を残してリタイヤとなってしまい非常に悔しい結果となったので、今年はその悔しさをバネに「総合成績3位以上」を目標に活動に取り組んで参りました。

Team-member チームメンバー

中尾 亮太 (CP)

白瀬 敬一 (FA)、横小路 泰義 (FA)、
阪上 隆英 (FA)、浅野 等 (FA)、細川 茂雄 (FA)、
中辻 秀憲 (FA)、饗庭 清仁、宮崎 大、
船橋 駿斗、野中 謙次、山崎 佑介、第十 祐幹、
建部 可奈子、中村 雄大、林 秀明、藤林 憲太、
大川 智愛、栗林 拓輝、小林 和樹、佐藤 文、
高木 拓弥、永井 紳一郎、中村 貴也

Sponsors スポンサーリスト

アルテアエンジニアリング、エアリキード工業ガス、
エヌエムビー、NTN、アネブル、F.C.C.、
キノコニエンタープライズ、ケーメックス、神戸製鋼所、
コンパスラブ、ダイヘン、ツルガ、東日製作所、
東邦テナックス、ニチリン、ハイレックスコーポレーション、
ミスミ、和光ケミカル、川崎重工、協和工業、小谷鋼管、
シーズンプロショップ、新日鉄住金、住鋳潤滑剤、
住友電工ハードメタル、住友電装、セイコー工機、
ソリッドワークスジャパン、大東ラジエーター工業所、
ダイハツ工業、トナニ技研工業、ナガセケムテックス、
鍋谷バイテック、日信工業、フジ化成工業、
MOTO-DOG、IADJ、CAST

Team-Movie <http://www.jsae.or.jp/formula/jp/12th/movie/32.html>